

生活基盤施設耐震化等交付金事前評価

計画の名称：石川県水道施設耐震化計画

都道府県名：石川県

評価

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性 石川県水道整備基本構想において、老朽管路の更新や基幹施設の耐震化に努めることとしており、整合性がある。	○
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性） 令和元年度の水道基幹管路の耐震適合率は35.5%となっており、耐震化を着実に進める必要がある。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業計画の目標と定量的指標の整合性 災害に強い水道施設の整備を図ることを目標としており、基幹管路の耐震適合率は、目標に対し整合性がある。	○
②定量的指標の明瞭性 基幹管路の耐震適合率を定量的指標としており、明瞭性がある。	○
③目標と事業内容の整合性 災害に強い水道施設の整備を図る目標に対し、老朽化した基幹管路の更新及び重要給水施設配水管や基幹水道構造物の耐震化を実施する事業内容となっており、整合性がある。	○
④事業の効果の見込みの妥当性 老朽管路の更新や重要給水施設配水管の耐震化により、基幹管路の耐震適合率の向上が見込まれることから、妥当である。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（用地取得の見通し、関連法手続の見通し等） 特になし。	○
②地元の機運（当該事業に係る要望等） 水道施設は生活に欠かせないライフラインであり、大規模地震や自然災害の場合でも、水の供給へのニーズは高い。	○